

2012/03/27 西セティ・ダム, さらに紛糾
2012/03/23 イスラム固有の権利
2012/03/22 カトマンズ鉄道建設も韓国
2012/03/20 西セティ・ダム建設, 紛糾
2012/03/19 プラチャンダご令息のエベレスト計画, 頓挫
2012/03/16 IT企業に丸裸にされる市民
2012/03/14 パン事務総長の訪ネ批判: ゴータム元国連事務次長補
2012/03/11 麻薬中継地, ネパール
2012/03/10 パン国連事務総長, 4月末訪ネ
2012/03/06 朝日の反エコ面妖紙面
2012/03/04 中国援助ダムに沈黙のNGOとマオイスト
2012/03/02 麻薬の対日密輸拠点, ネパール
2012/03/01 ポカラ観光ケーブルカーと東京スカイツリー

西セティ・ダム, さらに紛糾

西セティ・ダム問題がますます紛糾し, わけが分からなくなってきた。西セティダム建設は, 2月29日, エネルギー省が競争入札なしで中国三峡会社と事業覚書(MoU)を締結した。これに対し, 非難噴出。

- ・このダムはネパールが自力で建設できる。
- ・財務省もネパール投資銀行(NIB)も事前に知らされていなかった。
- ・エネルギー省カルキ事務局長には協定締結権限がない。
- ・競争入札ではなく, 中国企業を特別扱いした。

議会調査委員会は, 5月28日まで期間延長し, 調査するという(ekantipur, Mar25)。

この記事通りだとすると, ネパール政府は, ほとんど当事者能力を失っている。協定署名者の職務権限が怪しいようでは, もはや外国からは相手にされない。

中国や韓国のように果敢にリスクを取る覚悟があれば別だが, そうでなければ, 日本などは手を引くのが賢明だろう。

谷川昌幸(C)

2012/03/27 14:46

カテゴリー: [経済](#), [中国](#)

タグ: [ダム](#), [環境](#), [開発](#), [西セティ](#)

イスラム固有の権利

西洋の無責任な包摂参加原理主義・連邦制原理主義のせいで、アイデンティティ政治の危険性がますます高まってきた。

短い記事だが、リパブリカ(2012-3-22)によると、ネパール・マドラサ連合は、イスラム固有のアイデンティティを認め、新憲法にムスリムとしての権利を書き込むよう要求している。

彼らによれば、ムスリムは「マデシ」ではない。新憲法は、ムスリムをムスリムとして認め、政府諸機関等にすべて人口比に応じたムスリム枠を設定すべきだという。

マドラサ連合は、もしこのムスリムの要求が認められなければ、街頭に出て抗議活動を始めると警告している。

これは、警戒すべき動きだ。そもそも宗教は神々のものであり、歴代のネパール統治者は最大限の慎重さをもって扱ってきた。それは、たしかに差別抑圧の構造化・内面化の側面をもつ。しかし、だからといってパンドラの箱を不用意に開けてよいということにはならない。

にもかかわらず、パンドラの箱は、包摂参加原理主義・連邦制原理主義によって開けられてしまった。まず飛び出したのが仏陀。仏教は、王政打倒のシンボルとしてさんざん利用され、いまや**準国教**の特権を享受している(「ルンビニ観光年 2012」をみよ)。が、そんな仏教革命共和国がいつまでも続くわけがない。ヒンドゥーの勇敢な神々が反撃を始めるだろうし、キリスト教の神も勢力を急拡大している。

そして、いまイスラムの神も、声を上げ始めた。彼ら、ムスリムの要求は、包摂参加民主主義の原理からすれば100%正当であり、認められて当然である。とすれば、クリスチャンは、ヒンドゥーは、……どうなるのだろうか？

谷川昌幸(C)

2012/03/23 09:37

カテゴリー: [宗教](#), [民主主義](#)

タグ: [アイデンティティ](#), [イスラム教](#), [キリスト教](#), [連邦制](#), [包摂参加](#), [原理主義](#), [仏教](#)

[カトマンズ鉄道建設も韓国](#)

カトマンズ首都鉄道5路線の建設計画が、発表された。環状道路内4路線、環状道路沿1路線。ラトナ公園が中央駅となり、一部地上、一部地下路線となる。

建設計画の中心は、もちろん日本ではなく、韓国。アジアにおける開発援助の中心は、日本から、韓国や中国に移り始めたようだ。

谷川昌幸(C)

2012/03/22 09:47

カテゴリー: [経済](#)

タグ: [鉄道](#), [開発](#), [韓国](#)

[西セティ・ダム建設, 紛糾](#)

中国企業(三峡公司)が受注した西セティ・ダム建設をめぐって議論が紛糾している。議会委員会が、競争入札でないのは不透明だと調査を始めたのに対し、中国企業は、そんなことをいうのなら撤退だ、と強腰だ。

興味深いのは、この住民移転強制・自然破壊ダムの建設を強行しようとしているのが、マオイストで、調査を要求しているのが NC など野党側だということ。

マオイストは、「人民」も「自然」も「民主主義」もそっちのけで、早く建設を承認しないと、中国企業が撤退してしまうと、調査打ち切りを強硬に要求している。まるで「人民」の敵がマオイスト、味方が NC のようだ。

報道はされていないが、これは一種の中印代理戦争ではないか？ 西ネパールの敏感地帯に中国企業が巨大ダムを建設する。インドからすれば、面白くないだろう。

■ [中国援助ダムに沈黙の NGO とマオイスト](#)

谷川昌幸(C)

2012/03/20 10:25

カテゴリ: [インド](#), [経済](#), [中国](#)

タグ: [ダム](#), [環境](#), [Seti](#)

[プラチャンダご令息のエベレスト計画、頓挫](#)

プラチャンダ議長のご令息プラカシ氏が、他のマオイスト同志10人と「ルンビニ・サガルマタ平和隊2012」を組織し、エベレスト(サガルマタ)登頂を目指すことになった。世界最高峰に**赤旗**がひるがえるのは壮観であり、はるか下界にルンビニのパン国連事務総長見下ろす、というその心意気は諒としたい。さすが、英雄プラチャンダ議長のご令息だけのことはある。

マオイスト政府も、この登山計画を高く評価し2千万ルピーの国費支援をすることにした。ネパールの「輝ける道」(**「プラチャンダの道 Prachada Path」**ともいう)がエベレストに達する記念すべき事業だから、これも当然だ。

ところが、どこにでも了見の狭い小人はいるもので、プラカシ登山隊への国費支出に対し、ねたみ、ひがみタラタラ、NC,UML などから文句が噴出した。また、栄光登山から外された身内の YCL からも、恨み節が聞かれ始めた。

NC 系学生団体 NSU にいたっては、いやがらせに支援キャンペーンをやり、2千万ルピーを集め、登山隊に寄付するという。まるで、漫画のような抗議運動だ。

もし登山隊の先頭に立つのがプラチャンダご本人なら、そんなひがみ、ねたみなど意に介さず、NSU が2千万ルピーくれるというのなら、「はい、ありがとう」といって受け取り、国費2千万ルピーと合わせ、豪勢にエベレスト登山をするだろう。豪華であればあるほど、箔がつく。

この「世界に輝けるネパール」を目指すプラチャンダ人民王に対し、首相のバブラム氏は、有能ではあるが、民草の1人にしかすぎない。ちまちま世俗的な心配をし、公用車にはネパール国産ムスタン車を使用、国連出張にもエコノミーを利用する。しかし、小国首相(実質的元首)がエコノミーを使用したら、貧乏くさく、惨めなだけだ。お金が無いのだな、おかわいそうに、と同情を引くだけ。

これに対し、エベレストに赤旗を立て、矮小資本主義諸国を見下ろし、国連をもひれ伏させることを目指すのがプラチャンダ登山隊——希有壮大、夢がある。2千万ルピーくらい、安いものだ。

ところが、残念ながら、登山隊を実際に率いるのはプラカシ人民皇太子。世間の批判にたじろぎ、たちまち腰砕け、国費2千万ルピーを辞退してしまった。こりゃダメだ。登山はするであろうが、私費と国費では重さが違う。そのところが、人民皇太子には分かっていない。が、2代目だから仕方ないだろう。

■ "Govt decision to aid Dahal son's Everest team draws flak," ekantipur, MAR 16

■ "Dahal son's Everest team to get crores," 2012-03-17, HIMALAYAN NEWS SERVICE

■ "Frugal PM Gives Rs 20m For Maoist Everest Bid," myrepublica.com, March 17

■ Binod Ghimire, "Country outraged by 'birth of new princelings'," ekantipur, MAR 18

■ "NSU collects symbolic donation for Dahal's son," ekantipur, 2012-03-18 04:35

■ "Dahal's son to reject govt's aid," ekantipur, MAR 18

2012/03/19 10:51

カテゴリ: [マオイスト](#), [政治](#)

タグ: [エベレスト](#), [ルンビニ](#), [輝ける道](#), [nepotism](#), [Prachanda](#)

IT 企業に丸裸にされる市民

グーグルの新サービスに対し批判が高まっている。アクセス情報の一元管理により、たとえば〇〇が過激派サイトを見た後、△△にメールを送った、といったことが簡単にわかるらしい。これは世界規模の市民総背番号制であり、スマホなどの GIS 情報とも組み合わせると、世界中の人がすべて丸裸にされる。

これはたまらん、ということでグーグルが攻撃されているわけだが、技術的には可能なわけで、たとえグーグルがやらなくても、他の IT 企業がやるにちがいない。ネットやスマホを使う以上、プライバシーは放棄したものと観念せざるをえないだろう。

早い話が、たとえば、このブログ。無料なのに、なかなかサービスがよい。アクセス情報もかなり詳しく、検索用語からリンク元、それに最近はアクセス地域まで教えてくれる。これを見ると、日本が一番多いが、この日はネパール23、米国4、フランス2、タイとカナダ各1となっている。

IT 素人でよくは分からないが、知識さえあれば、国内のどの地域からか、あるいはアクセス元は誰かまで、分かるのだろう。いやはや、すごい時代になってきた。素人でも日常的にこんなことができるのだから、グーグルが世界中の市民を丸裸にすることは、もはや止めようがないだろう。

■このブログへのアクセス情報



上から「アクセス国」「検索／リンク元」「検索キーワード」(3月15日)

谷川昌幸(C)

2012/03/16 09:50

カテゴリー: [情報 IT](#), [文化](#), [人権](#)

タグ: [プライバシー](#), [監視社会](#), [Google](#), [情報化](#)

訪ネは正当, 国連弁解

クルチャンドラ・ゴータム氏の手厳しい批判がこたえたのか, 国連側が必死になって弁解している。

■ ”Peace process Ban’s key agenda,” ekantipur, 2012-3-15

記事によると, パン国連事務総長の4月末訪ネの主目的は, 和平促進だ。国連は, 2006年以来, ネパール和平を支援し, 2011年のUNMIN 撤退後も, 関与し続けてきた。

「パンはルンビニのためだけに来ると考える人がいるとすれば, それは事実にあ反する。」

国連はかなり怒っている。そりゃそうだ。ゴータム氏の批判は, 正確に急所を衝いているからだ。

小国ネパールが, 国連や中国, 韓国を相手に, 堂々と論戦を挑む。立派なものだ。ネパール外交からも学ぶべきものは多い。

谷川昌幸(C)

2012/03/15 10:07

カテゴリー: [外交](#), [平和](#)

タグ: [ルンビニ](#), [国連](#)

パン事務総長の訪ネ批判:ゴータム元国連事務次長補

パン国連事務総長の4月末ルンビニ訪問について, 元国連事務次長補(Assistant Secretary-General)のクルチャンドラ・ゴータム氏が, 厳しく批判している。ゴータム氏は, ユニセフ元副事務局長でもあり, ネパール国連外交の代表的人物。

■Kul Chandra Gautam, "Wrong visit at the wrong time, The questionable wisdom of Ban Ki-moon's proposed visit to Lumbini," Nepali Times, March 12, 2012

1

ゴータム氏の訪ネ反対理由は、人民戦争の決着もつかず、新憲法もできていないのに、時期尚早ということ。人民戦争中の人道犯罪や人権侵害については、誰1人責任を問われていない。それどころか、マオイストはつぎつぎと高位要職に就き、すべて免訴・免責にしようとしている。

国連も情けない。UNMINは無能として追い出され、今度は高等人権弁務官事務所も追い出されようとしている。そしていま、「ルンビニ国際会議・議長」のエサで、パン事務総長がプラチャンダ議長に釣られようとしている。

プラチャンダ議長は、1万5千の死者と無数の犠牲者を生み出した人民戦争の張本人だ。しかも、まだ暴力革命路線を放棄してはいない。

「国連事務総長が、神聖な仏陀生誕地で開催される国際会議において、血染めの手を恥じることのないマオイスト指導者とともに共同議長を務めるとは、なんたる皮肉か。……聖地の国際会議で国連事務総長が共同議長を務めるのは、平和を願うネパール人ばかりか世界中の多くの仏教徒に対する許しがたい冒瀆である。」

それに、「アジア太平洋協力交流基金(APECF)」や「国連工業開発機関(UNIDO)北京事務所」も怪しい。もしパン事務総長が訪ネするというのなら、次の3条件を満たしてからだ。

- (1)マオイストとプラチャンダ議長に暴力放棄を確約させること。
- (2)人道犯罪、人権侵害の罪を問わないような「真実和解委員会」を拒否すること。
- (3)マオイスト戦闘員の統合・復帰を完了すること。

もしこれらの3条件が満たされるなら訪ネもよいが、だめなら、訪ネをキャンセルするか、少なくとも3条件を明言すべきである。

2

このクルチャンドラ・ゴータム氏の批判は、正論である。私もそう思う。しかし、プラチャンダ議長の偉さは、そのような正論は分かった上で、力と金の現実の流れを読み、それを利用して事態を思う方向へ動かそうとしている点にある。

おそらくパン事務総長も、利用されることは十分に分かった上で、利用するプラチャンダを利用して和平を実現させようとしているのだろう。

そして、プラチャンダ議長は、利用されることが分かった上で利用されようとしているパン事務総長を利用して自分の描く和平を実現しようとしているのだろう。ひょっとすると、大物ゴータム氏に正論を吐かせているのは、プラチャンダ議長かもしれない。

いやはや、ネパール政治はスゴイ。ステーツマンシップのモデルとして研究する価値は十分にある。

谷川昌幸(C)

2012/03/14 13:46

カテゴリー: [マオイスト](#), [外交](#), [政治](#)

タグ: [ルンビニ](#), [Prachanda](#), [statesmanship](#), [国連](#)

麻薬中継地, ネパール

ネパール麻薬取締局によると、ネパールはアジア麻薬黄金地帯(アフガン・パキスタン・イラン)からの麻薬中継基地となりつつあるという(ekantipur,2012-30-10)。トリブバン空港で押収されたヘロイン等は、この2年間で30Kg以上。この1月にも、タイ女性がコカイン1kg所持で逮捕された。

ネパールは、ヒッピーの1960-70年代、ドラッグ天国だった。1978年、麻薬禁止法が成立したが、それ以後も取締は緩く、ハッシシなどは、いたるところに出回っていた。

人民戦争中は、マオイストが麻薬取引で軍資金を得ているといったウワサがよく流れたが、その真偽は分からない。ただ、西部は治安機関崩壊で麻薬取締もできていなかったことは確かであろう。

そんなこんなで、ネパールは危なくなった。ごく普通の観光客でも、いつ運び屋として利用されるか分からない。禁固何年だったか忘れたが、ネパールでも麻薬犯罪は重罪だ。くれぐれも、ご用心を！

■[麻薬の対日密輸拠点, ネパール](#)

谷川昌幸(C)

2012/03/11 20:17

カテゴリ: [旅行](#)

タグ: [ドラッグ](#), [空港](#), [麻薬](#)

[パン国連事務総長, 4月末訪ネ](#)

パン国連事務総長が4月28日、訪ネし、4月29日現地開催の「ルンビニ開発国際会議」に出席する。

以前、パン事務総長は、新憲法制定を訪ネ条件にしていたから、訪ネ決定は、4～5月頃に新憲法が制定されるということではないかと推測される。もしそうなら、めでたいことだし、それをセットした、プラチャンダ議長は、やはり偉い。

それはそうとして、この国際会議には、16仏教国元首が招待される。さて、日本は仏教国かな？ 中国-韓国-国連枢軸により憲法制定がセットされ、お祝いがルンビニで派手に催されるというのであれば、かっこわるくて、日本は出席できないだろう。

偉大なプラチャンダ議長(ルンビニ開発調整委員会委員長)は、パン総長をルンビニ開発委員会委員長に担ぎ出すらしい。もちろん、大ルンビニ(ルンビニ・ルパンデヒ・カピルバスツ・ナワルパラシ)開発構想のためだ。

たぶん、日本は外されるだろうな。カネも青写真も中国と韓国(とタイ)からくる。なんせ、115m 大仏、ラサ=カトマンズ=ルンビニ鉄道、新国際空港、そして金ぴか五星ホテルと目白押しだから、落日ニッポンなんか、お呼びじゃない。

2012/03/10 17:50

カテゴリ: [経済](#), [文化](#), [旅行](#), [中国](#)

タグ: [ルンビニ](#), [空港](#), [鉄道](#), [韓国](#), [Prachanda](#), [国連](#), [仏教](#)

朝日の反エコ面妖紙面

朝日新聞の Globe については何回か批判したが、3月4日付は以前にも増してひどイ。

空きスペースだらけの資源浪費, 読解難渋, 美的センス皆無, 文字転倒の倒錯……。いったい誰が, 誰を対象に, こんな紙面をつくっているのだろう? 西洋はもちろん, ネパールにだって, こんな読みにくい, 反エコ新聞はない。

そして, 奇妙なことに, 別刷りだけでなく, 朝日新聞本紙も, この反エコ横組みを採用し始めた。縦組みと横組みの混載。頭がクラクラする。

もちろん, 一部を横組みにしてアクセントをつけることはこれまでもあったし, 日本語の自在さを生かした工夫はあってもよい。しかし, 読みやすさ, デザインを無視し, 紙面の 1/3~1/2 を横組みにしてしまうのは, トンデモ企画以外の何ものでもない。

新聞・雑誌や書籍の縦組みは, 日本文化と深く結びついている。朝日新聞には, 社会の公器として, 日本文化を尊重し正しく伝える使命があるはずだ。

もちろん, 横組みそのものが悪いわけではない。しかし, もし横組みに転換するのなら, 横文字文化をよく勉強し, デザインも工夫し, まともな横組み新聞に移行すべきだ。

Globe や、本紙の縦横混載紙面は、おそらくデジタル朝日への移行準備であろう。紙媒体読者への一種の嫌がらせ。そうでなければ、こんな悪趣味なゲテモノ紙面を、金を取って臆面もなく宅配できるはずがない。

朝日には、「プロメテウスの罫」のような、優れた連載記事がある。このような卓越した、ジャーナリズムの鑑のような記事さえあれば、ことさら奇をてらわなくても、読者は決して朝日を離れないはずだ。朝日新聞には、ジャーナリズムの正道を歩んでほしい。



朝日新聞グローブ、2012-3-4

■巨大空きスペース、カラー印刷、転倒文字。バブル景気再来のよう。



朝日新聞, 2012-3-1

■朝日本紙は縦横混載へ。

谷川昌幸(C)

2012/03/06 14:31

カテゴリ: [情報 IT](#), [文化](#)

タグ: [ジャーナリズム](#), [日本語](#), [朝日新聞](#)

中国援助ダムに沈黙の NGO とマオイスト

1. 西セティ・ダム概要

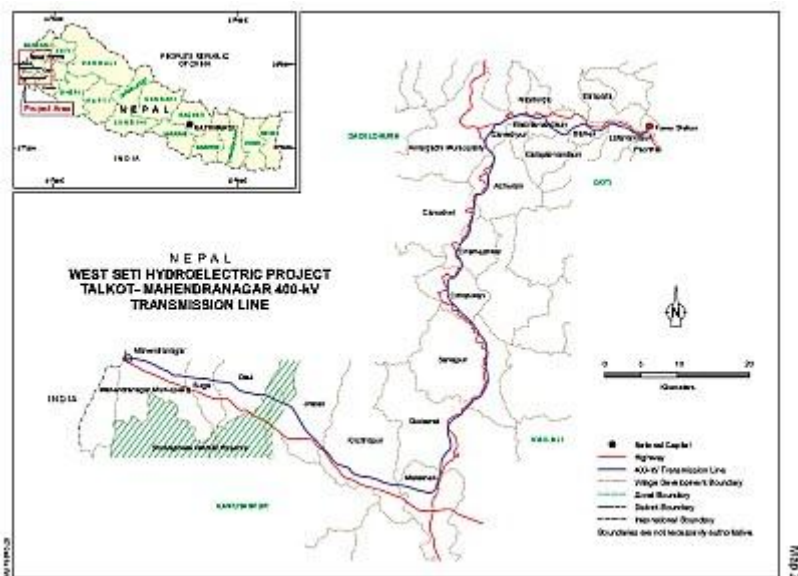
中国援助の西セティ・ダムの建設が決定した。国際入札ではなく、ネパール政府が中国企業(三峡公司)と契約した。

- ・16億ドル
- ・750MW
- ・権益:中国企業75%, ネパール電力局25%

これはもともとインドが関心を持ち、発電電力も大半をインドに送ることになっていたが、政情不安や資金難のため頓挫していた。

ここに中国が目をつけた。極西部は地政学的にインドにとって極めて重要なところであり、もしこのダム建設が成功するなら、中国にとって、それは経済的というよりはむしろ政治的な勝利といってよいだろう。

▼建設予定地 (ABD 環境アセス 2007 より)



2. 沈黙の NGO とマオイスト

ここで不思議なのが、環境 NGO や人権 NGO。かつて日本などがダムを建設していた頃、欧米系 NGO が、環境や人権を理由に、さかんにダム建設反対を叫んでいた。そして、これに負けじと、マオイストも唱和し、あちこちでダム建設を妨害した。

西セティ・ダムは、「ABD 評価」によれば、2326ha の土地を必要とし、1599 家族、12914 人が立ち退きを迫られる。巨大事業だ。それなのに、環境・人権 NGO やマオイストからの反対の声は、いまのところ、ない。

あの麗しき自然愛、人類愛は、いったいどこに行ったのだろうか？ 中国が怖いのかな？ あるいは、体制側になったら、利権があまりに美味しく、地域住民や環境のことなど目に入らなくなったのかな？

3. 身勝手に卑怯な NGO

欧米系の環境・人権 NGO の中には、遺憾ながら、一部身勝手に卑怯なものがある。たとえば、捕鯨反対。私自身、日本が南氷洋くんだりまで出かけ、姑息な「調査捕鯨」をやることには反対だが、だからといって、反捕鯨 NGO のやり方は度が過ぎる。

ましてや、和歌山までやってきて、伝統的な沿岸捕鯨をやっている地元漁民を一方的に攻撃するのは、正義・公正に反し、絶対に許せない。

そんな情熱があるのなら、なぜ沖縄に来て、ジュゴンを守るため普天間基地建設に反対しないのか？(まともな NGO は、むろん、その多くが基地建設反対を闘っている。)米軍(日本政府パトロン)は怖くて実力行使できないが、和歌山の漁師ならたいした抵抗も出来ないだろうから、大向こう受けを狙って派手にやってやれ、というわけか。

ヒマラヤの環境保護や鯨・イルカ保護は大切だ。しかし、保護運動にも、最低限度の公正さは、不可欠であろう。

谷川昌幸(C)

2012/03/04 15:28

カテゴリ: [経済](#), [外交](#), [中国](#)

タグ: [ダム](#), [環境](#), [電力](#), [地政学](#)

[麻薬の対日密輸拠点、ネパール](#)

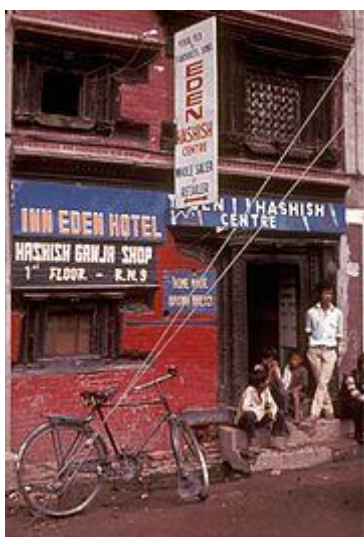
ネパールが、麻薬の対日密輸拠点になりつつあるという(Republica,2012-03-02)。

ネパールのハッシシ(大麻, マリファナ)は高品質で人気があり、対日密輸が増えている。手口は、在日ネパール人宛に送りつけ、なんらかの方法で受け取る方法。日本の警察が宛先にすむネパール人を取り調べても、報道の限りでは、住所を勝手に利用されただけで、実際には、被害者だ。

一方、トリブバン空港では日本人2人がハッシシ所持で逮捕されている。もし故意に持ち帰ろうとしたのなら、地獄のようなネパール監獄を覚悟しての上だろう、立派におつとめを果たし、出てきてほしい。

しかし、もし万が一、誰かに頼まれた荷物に入っていたのであれば、これは善意へのあまりにもむごい報酬だ。全く無関係の在日ネパール人にハッシシが送りつけられているのを見ると、無邪気な日本人観光客が狙われて不思議ではない。

恐ろしいことだが、その防止は容易ではない。いったい、どうしたらよいのだろうか？



■カトマンズのハッシシ屋さん, 1973 年頃(wiki)。

谷川昌幸(C)

2012/03/02 21:05

カテゴリー: [社会](#), [人権](#)

タグ: [ハッシシ](#), [マリファナ](#), [麻薬](#), [大麻](#)

[ポカラ観光ケーブルカーと東京スカイツリー](#)

ポカラに観光ケーブルカーが新設されるという。「ペワ湖←→Pumdi Bhumdi」というから、この付近だろう。



(Google)

ポカラには、30 数年前に行って以来、一度も行ってない。その頃のポカラは、文字通り「地上の天国」、この世のものとは思えないほど美しかった。その「古き良き思い出」を失わないため、二度と行かないことにしている。

日本にも、そんな二度と行かないと定めたところが、いくつかある。美しければ美しいほど、破壊が恐ろしく、再訪できないのだ。

もちろん旅行者のエゴ。地元の人には生活も仕事もある。それはよく分かるが、それでも旅行者のエゴとして、行きたくない。

東京にも、「スカイツリー」とかいう塔が出来たらしい。傲慢な英語帝国主義と軽薄卑屈な拝金主義の権化のような醜悪な鉄塔らしい。直下型地震に耐えられるかな？



谷川昌幸(C)

2012/03/01 22:13

カテゴリー: [文化](#), [旅行](#)

タグ: [英語帝国主義](#), [資本主義](#), [拝金主義](#), [景観](#), [伝統](#)